

With

2004
新春
vol. 27

ウィズセンター情報誌

- 特集 ☒ ウィズフェスティバル2003開催 ☒
5周年・合ゴおー・GゴOー「あしたともに創ろう輝く未来」 ☒
～あなたもわたしも参画社会～ ☒
- 参画社会へLet's Go! ～男女共同参画のまち宣言をした勝山町～ ☒
- ひとことメッセージ優秀作品 ☒

ゴー☒ ゴー☒ ゴー☒ あした☒
5周年・合おう・GO「ともに創ろう輝く未来」☒
～あなたもわたしも参画社会～☒

ウィズセンター開館5周年を記念して、11月23日から25日までの3日間、「ウィズフェスティバル2003」がウィズセンターで盛大に開催されました。☒

吉備真備太鼓の勇壮な太鼓に始まり、石井県知事、井元県議会生活環境保健福祉委員長ほか、関係者によるテープカット、つくし会の皆さんの傘踊りで華やかに幕を開けました。☒

また、クレド岡山ビルエントランスホールで、男女共同参画啓発パネル展を行いました。☒



実行委員長あいさつ☒

フェスティバルの開催に当たり23名の実行委員が担当ごとに、また、全体会を重ねながら企画から運営まで行いました。☒
今年は開館5周年という記念すべき年でもあり、実行委員一同張り切って準備を進めてまいりました。みんなで力をあわせて何かをする事やネットワークの大切さも改めて感じました。テーマは「ともに創ろう輝く未来^{あした}」と決まり、5周年を記念して実行委員の作詞・作曲をもとに、楽しみながら苦しみながらウィズソングも完成！誰もが口ずさめる素晴らしい力作と自画自賛しながら、県内に広がり男女共同参画に少しでも役立ってくれればと委員一同願っております。吉永みち子さんと県知事との対談にはじまり、講

演会、登録団体のワークショップや展示、最終日には大西副知事をお迎えしての交流会と多彩に繰り広げられたフェスティバルもウィズソングの大合唱で幕を閉じました。このフェスティバルを通して男女共同参画の取組がますます盛んになることを願っております。☒

終わりにになりましたが、フェスティバルの開催に当たりご協力いただいた方々に心から厚くお礼申し上げます。☒

「ウィズフェスティバル2003」実行委員会☒
委員長 金谷安子☒



「これからのまちづくりと男女共同参画」

講師

吉永 みち子

ノンフィクション作家



プロフィール

埼玉県生まれ。東京外国語大学卒業。

郵政行政審議会、地方分権改革推進会議等委員を歴任。

コメンテーターとしてラジオ、テレビ等への出演、講演など幅広く活動中。

著書「気がつけば騎手の女房」「総理とその女房」、

「母と娘の40年戦争」「老婆は一日にしてならず」等多数。

●これまで、逆さまのまちづくり

これまでのまちは、間違いなく男性がつくってきました。行政で決定の場にいたのは男性ですから。それと中央集権的なまちです。大きな方針は国が決める全国一律システム。国土の均衡ある発展が国のテーマでしたから、毎年、新しいものが建っていきます。しかも、どんどん大型化して。しかし、これからのまちづくりには女性の視点が加わります。つまり、生活の視点が加わるということです。全国一律ではなく、規模や地域によって必要なものを、という地方分権的なまちづくりです。これまでは国から多くお金をとってくる人が、地域の偉い人でした。そうして大きな箱物をつくる。つくってから、そこで何をするか考える。考えつかなかった時は無用の長物と化し、維持費の負担だけを生む。

これからは、自分に、地域に必要なものは何だろう！それを実現するためには、こういうハードやシステムが必要だ！だから、それを求める予算を組む。これが正しいまちづくりなのです。日本は、疑いもなく逆さまのまちづくりを推進してきたのです。

あなたは自分らしく生きていますか？

まちづくりと男女共同参画のリンクは、自分がどのように生きたいか！にあります。自分の視点があれば、それを生かすまちづくりをしようとする。しかし、今まで女性は自分というものを持たなかった。「女子供に何がわかる」の時代でしたから。

ところが、男性も自分を持っていなかった。男らしい、女らしいの視点のみでした。それが、社会が決めた性別役割分担をスムーズに進める手段でしたから。1950年生まれの私は、日本国憲法が制定され、男女平等の中に生まれたはずですが。しかし世の中は、全然平等ではなかった。競馬新聞社に勤めた時は、周囲は男性のみ。仕事は何もこない。呼ばれるのはいつも、「ねえちゃん、お

茶入れてくれー。」次に結婚したら、かあちゃん。一緒に働くパートナーという意識は全くありません。そこで、仕事をしていくために、男ならどう考えるか、という視点でものを考えるようになる。女の人は、自分が持てず、どんどん自分を無くしていく中、男の人は自分が生きられてうらやましいと思いました。だから、社会をつくったり、まちをつくったりできるのだらうと。しかし、違っていました。男性の形容に粗大ごみ、濡れ落ち葉がでてきたのです。自分を持っている人は、どんな状況になろうとごみにも落ち葉にもならないはずなのに…。

実は男性も自分を生きていなかったのです。たとえば総じて男性は、相手の肩書きに合わせた接し方をします。目の前の個人ではなく、社会的地位や立場にとらわれた考え。男性は、女性以上に“らしさ”に縛られていたのです。自分を持っていると錯覚していたに過ぎない男性が、いろいろなものをつくってしまった。女性は錯覚すらできなかったから、“自分が無い”現状を先に知ることができた。子育てという“役割”によって生かされていた女性が、その役割が終了してしまうと自分が無くなる空の巣症候群。女性たちは「それではいけない!!」と気づきました。仕事という“役割”が無くなった時、崩れてしまう男性たち。今は昔と違い、役割が終わった後も長年の寿命があります。役割で生きるのではなく、固有名詞の人生をおくる。それは苦しいけれど楽しいこと。常にそこから紡ぎ直せるのですから。一生涯かけて自分という線をゼロからつくりあげる。「あなたは自分らしく生きていますか？」

●これからのまちづくりは、人の知恵から

自分らしく生きている人はどんなまちに住みたいのか、どんな暮らしをしたいのか、きちっと自分でわかります。しかし、自分が無い人がつくったまちは、すべてに合うようで、すべてに合いません。一見豊かそうに見えるだけですが。

今、日本はお金のない時代。そして変革の時。だから人の知恵に頼るのです。今後のまちづくりのテーマは、男女共同参画と地方分権です。自分がどう生きたいかを決めるのと同じで、このまちはどうやって生きていこうかを考えるのです。しかし視点のないところには、知恵も働きません。これまでの地方は、かつての女性と同じでした。国が補助金を出すから、これに使いなさいというように。一例を挙げれば保育所をつくったり学童保育をする場合、法律で下限定員が定められています。このまちでは定員に満たないからできないではなく、法律をかえればいいのです。「それぞれの地域にあった自由な

形でやらしてくれ！」ということを女性の側から発言すべきです。そうすれば、法律がついてきます。まちが良くなることのできない法律が悪いのですから。このように発想していけば、まちの基本ラインが変わってきます。莫大なお金がなくても、ジャストサイズのまちづくりができるはずです。今まで、一番生活から遠いところが決めてきたまちづくりが、隅々にまで生活者の視点になる。人がいれば活力のあるまちができる。お金ではなく、多くの知恵を持っている人が住んでいるところが、良いまちになっていくでしょう。☒

対談☒

「時代の潮流を読む～男女共同参画の視点で～」☒

吉永みち子 & 石井県知事☒

講演に先立ち、吉永さんと石井知事の対談が行われ、☒

短い時間でしたが、二人の男女共同参画に対する熱い思いが伝わってきました。☒

オモテとウラが等しい男女共同参画をつくろう☒

石井：男女共同参画の基本法が制定されて4年。男女共同参画が大事だということは社会全般に浸透してきてはいますが、男性側には表面的には賛成、本音になるとなるとちょっと…という部分があります。女性側にも意識を変えなければならない点があります。つまり、男女ともに厚い意識の壁があります。☒

吉永：今は意識が変わらないところに現実が動いた軌^{きし}み^みがでている過渡期です。男女共同参画とは新しい社会をつくること。ところが「男女共同参画は女のためにやるもんだ！」と思っている人もいるのでは？☒
しかし、男女共同参画はお互いのためにすること。対立構造ではなく、これまで半分しか見えなかったものを倍にしましょうということ。長い間の性別役割分担によって守ってきた女性の城。女性には犯されたくない男性の障地。そこをお互いどうやってオープンにしていくかが、今後の課題でしょう。☒

石井：将来、日本は社会の担い手が減ってきます。活



力を維持するためには女性の活躍は必至です。日本を元気にするため、男性も元気になるために、女性が輝くことが大事で、そのためには根強い性別役割分担意識を変えることが必要です。ヨーロッパでは夕方5時ごろになると、夫婦で子供を保育所に迎えに行き、家族の触れ合いを育みます。男女が一緒になって育児に責任を負うことが成熟した社会では当然のことなのです。☒

吉永：審議会や経済界などが男女5割になると世の中イヤでも変わります。女性が社会に参画しようとしたとき、最初はお茶汲み、次はコピーとりでした。だから、もっとおもしろいことをさせてよと言いました。

今、男女雇用機会均等法や基本法などで社会の流れはつくり、男女共同参画のオモテ表紙はだいぶしっかりしてきました。今度はウラ表紙です。男女と一緒に考え、どうパートナーシップをつくりあげていくか！ 経済的にも生活面でも自立した人間同士が、いい関係を築くために考えることがウラ。裏と表が一緒の厚さになった時、見事な一冊の共同参画の本ができます。☒

参画とはただ参加するのではなく、決定権をもってその場にいることです。☒

石井：そのためには、女性のエンパワーメントが必要です。県としても越えなければならない壁はたくさんありますが、頑張らねばと思っています。☒

ワークショップ☒

ウィズセンターの登録団体が自主企画して、ワークショップや、講演、活動報告など、男女共同参画社会の実現に向けた多彩なプログラムが展開されました。☒

11月24日(月)☒

イーブくらしきネットワーク☒

「男女共同参画コント笑百科☒
～自分らしく生きるって?～」☒

笑いを通じた啓発活動展開中の「イーブくらしき座」は、公演51回目。本日のテーマは、出産・結婚・DV・男性の家事参加など生活の中からジェンダーを探る。コメンテーターが自分の場合を語り、参加者からも家事・子育て・セクハラなど活発な意見が出されました。☒



おかやまライフ・21ネットワーク☒

「虐待を防止するために私たちにできること」☒
～児童虐待の実態とサポートの大切さ～☒

岡山県中央児童相談所の松尾所長を講師に迎え、虐待を防止するために私たちにできることを学びました。☒ 虐待が起こってからでは遅く、起こる前に地域のサポートが必要です。行政と市民のネットワークが大切であり、虐待を防止するしくみづくりが重要であると再認識しました。☒



邑久ライフフォーラム☒

「しらゆきひめ☒
～行動するお姫様の物語～」☒

「しらゆきひめのはじまり、はじまり～…」拍子木の音と共に幕が開くとそこはおとぎ話の世界。小さな糸操り人形が手足を動かして、かわいく演じます。テーマは「女性の自立」「男性の家庭参画」「エイジング」等々。参加者を交えて楽しい意見交換ができました。☒



おかやま女性国際交流会☒

「海外自主研修報告☒
『オーストラリア・イギリス・サンフランシスコ☒
やれば、出来る』」☒

S60年～H8年まで実施された「岡山県女性海外派遣事業」に参加したメンバーが会員となって会を構成しています。会員が県下に分散しているため一同に集うことは困難で、隔年の自主海外研修に参加して施設見学・訪問先の人との交流を推進しています。☒

ワークショップでは①研修費用はどのくらい? ②訪問先や企画は会で決めるのか? ③海外派遣事業の再開を推進してほしいとの要望を受けました。③の要望は今後の課題として取り組みたいと思います。☒



岡山女性フォーラム☒

「女性の人権が大切にされる社会を☒
つくるために」☒
～若い世代への出前授業～☒

岡山市の公共空間に設置されている裸体像を通して、女性の人権が大切にされる社会をつくるためにはどのようにすればよいか、今までに岡山市内の高校で実践した授業を行いました。「裸像があっても見ないふりをして何も思わなかったが、今まで気がつかないことに気づかせてもらった」等、会場の人たちとの意見交換が活発に行われました。☒



世界女性会議岡山連絡会☒

H14年度「岡山県男女共同参画調査研究事業」☒
21世紀を担う次の世代への☒
アプローチの報告と意見交換☒

調査結果から見えてきたもの、男性の意識啓発に対する提言等を行いました。☒

男性の生活面の自立がほしい、男女の同時進行の変革が必要、ワークシェアリングなど働き方の再検討、学校も職場も家庭もネットワークを広げて同時に進めていく必要があるなどと、活発な意見がでました。☒



11月25日(火)☒

レインボー・パンサーズ・おかやま☒

「ホームページ作りました。☒
みて、見て、喋って」☒

男女共同参画社会はIT社会への参加からと、会員全員でホームページ作成に取り組みました。中高齢者がパソコンを使いこなすことで情報に接することができ、日常生活のレベルアップに繋がると考えています。ホームページ作りを通して学んだこと、困ったこと、嬉しかったこと等を参加の方と話し合いました。☒



日本色彩福祉協会☒

「自分さがし ☒
女も男もカラーであなたらしく」☒

講師から一人ずつカラーコーディネイトのアドバイスを受けました。色彩を通して、自分らしく生きること、自分の中の輝くものを見つけることを学びました。☒

アドバイスを受けた方からは、「自分に自然と元気がでてきた。今日来て良かった。」「衣食住を小粋に生きるためのおしゃれな工夫が聞かれた。」などの声がありました。☒



登録団体交流会

最後を飾る交流会は、大西副知事と共に多くの登録団体が参加しての賑やかな楽しいひとときでした。



交流会参加団体

- INAHOアイネット
 - 邑久ライフフォーラム
 - 新日本婦人の会
 - 津山地域女性活動推進センター
 - メンズリブフォーラム岡山
 - レインボー・パンサーズ・おかやま
 - びぜん未来21
 - 岡山県人権・同和教育研究協議会
 - イーブくらしきネットワーク
 - 手づくりミュージカル「ドラネコ座」
 - 岡山市女性大学二期会「かがやき」
 - 岡山市女性大学三期会
 - おかやまライフ・21ネットワーク
 - 岡山地域女性活動推進センター
 - 英田女性の会
 - いかさ女性セミナー
 - 世界女性会議岡山連絡会
 - 岡山県交通安全母の会連合会
 - おかやま女性国際交流会
 - サンレディーズくらしき
 - フォーラム2000まび
 - 東備女性セミナー
 - イースト岡山女性ネットワーク
 - チョコボラ・ジュニアの会
 - 高上川女性フォーラム
 - 岡山女性フォーラム
 - ももたろう塾OB会
 - C・Tくらぶ
 - 岡山県手話通訳問題研究会
- (順不同)

パネル展示

登録団体の活動状況等の写真や記録の展示、また歩きながら男女共同参画を意識啓発するYES・NOパネル等がありました。



出展団体

- サンレディーズくらしき
 - イーブくらしきネットワーク
 - フォーラム2000まび
 - 岡山市退職婦人教職員連絡協議会
 - チャリティーハウス
 - おかやま女性国際交流会
 - 世界女性会議岡山連絡会
- (順不同)

ウィズフェスティバル2003 実行委員名簿

(50音順)

氏名	所属団体	氏名	所属団体	氏名	所属団体
池上 淑恵	イースト岡山女性ネットワーク	坂口 直美	岡山女性フォーラム	西 尚子	Tくらぶ
石川 三四	岡山地域女性活動推進センター	坂本 里子	東備女性セミナー	根本 敦子	邑久ライフフォーラム
馬屋原 美和子	東備女性セミナー	三近 光	メンズリブフォーラム岡山	萩尾 寛江	C,Tくらぶ
浦上 量代	岡山地域女性活動推進センター	白川 文弘	ももたろう塾OB会	橋井 順子	びぜん未来21
岡村 咲津紀	チョコボラ・ジュニアの会	杉本 慧子	世界女性会議岡山連絡会	早川 美也子	おかやま女性国際交流会
金谷 安子	イーブくらしきネットワーク	須崎 貴美子	おかやまライフ・21ネットワーク	平松 知子	レインボー・パンサーズ・おかやま
国司 幸子	いかさ女性セミナー	土屋 瞳	フォーラム2000まび	堀川 久美子	岡山県手話通訳問題研究会
小林 美津子	高上川女性フォーラム	中桐 美和子	岡山市女性大学三期会		



オープニング直前の打合せ



吉永みち子さんを囲んで

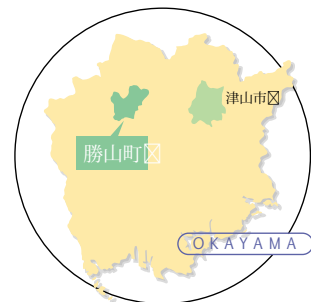
参画社会へ『男女がよきパートナーとして』

Let's Go!

～男女共同参画のまち宣言をした勝山町～

国道313号に平行して流れる旭川沿いの町並みが美しい勝山町は、県の北西に位置する城下町です。家々の軒先にはさまざまな模様染め抜かれた色とりどりの暖簾がかけられ、散策する人の目を楽しませてくれます。

一昨年、男女共同参画推進委員会を立ち上げ、住民と行政が一丸となって参画社会づくりへ向けて取り組んでいる様子を、浅野實町長、推進委員会のメンバーにお伺いしました。



できることから始めよう！

「平成11年に男女共同参画社会基本法、13年にDV防止法ができたのを受けて、勝山町においても国の流れに沿った取組を展開していこうと、平成14年9月に男女10名（男女比5:5）でかつやま男女共同参画推進委員会を発足させました。男女が良きパートナーとして地域づくりに関わっていくために、私たちの町でできることから始めてみようとはまずは啓蒙、啓発に力を入れています。」と浅野町長。推進

委員会発足以来、委員はもちろんのこと地域へ向けても学習会や講演会を開催して意識啓発に努めてきました。昨年12月14日に開かれた地域フォーラムでは約100人の町民を前に『勝山町男女共同参画のまち宣言』を行いました。



浅野町長 ました。

地域の声をエネルギーに変えて

「毎月第3火曜日の午後7時から例会を開いています。県のウィズネットワークづくり補助事業の補助金で発行している情報紙“パートナー”の編集作業をしたり、学習の時間を設けたりしています。」と委員長として会をリードしてきた池田久美恵さん。情報紙に対する反応も上々で、意見や投稿が届くことも。中には批判的な内容のものもありますが、それもエネルギーのもとになっているそうです。松本哲一さんは「男女共同参画に出合ったのは一年ほど前。知らない人はまだまだ多い。各戸にチラシを貼ってまわるくらいの啓蒙が必要。今回のフォーラムでの宣言は本当に良いアピールになった。」



池田委員長



松本さん



植田さん

と活動の成果を感じているようです。「町の活力の担い手はおばちゃんパワー。家庭の中で



男性の理解がないと女性は外へ出て行かない。女性が外で力を発揮できるという点では勝山町は進んでいるかも…」と言うのはそのパワーの一人でもある植田久子さんです。

宣言文の積極的なPRに向けて

平成13年度から課長立候補制を設け、女性課長も誕生しました。行動計画や条例はまだこれからですが、まずは男女共同参画のまち宣言で声高らかに参画社会実現へ向けてスタートを切った勝山町。男女は良きパートナーとして同等に認め合うことが大切という信念のもと、今後はいろんな会合の場を利用して大いに宣言文をPRしていきたいと、浅野町長も意欲満々です。推進委員会の活動もますます活発になり、男女共同参画のさわやかな風が勝山の町を吹き抜けていくことでしょう。（取材 情報コーナー：小林鈴代）

勝山町男女共同参画のまち宣言

勝山町は古くから城下町として栄え、歴史と文化と伝統をもち、杉や桜の緑と美しい自然に恵まれた人情豊かなまちです。このまちに生きる私たちは、互いに人権の尊重と、平等、自立、平和を基本理念として、心豊かな活力あふれる「勝山町」の実現を目指して、ここに男女共同参画のまちを宣言します。

1. 勝山町は人としての尊厳を重んじ、老若男女の別なく個人として能力を発揮できるまちをめざします。
1. 勝山町は従来の制度や習わしにとらわれず、世代を越えていきいきと活動できるまちをめざします。
1. 勝山町は男女が社会の対等なパートナーとして、いろいろな方針の決定の場に進んで参画できるまちをめざします。
1. 勝山町は男女が家庭生活と社会活動の両立のため、家族の構成員として役割を果たし、協力支援できるまちをめざします。
1. 勝山町はやさしい環境と安心できる福祉の実現に向けて、輝くまちをめざします。

2003年12月14日 勝山町

祝 おめでとうございます。

男女共同参画社会づくり表彰

男女共同参画社会づくりに積極的に取り組み、その功績が顕著である個人及び事業者をたたえる「岡山県男女共同参画社会づくり表彰式」が11月23日（日）に行われ、石井知事から表彰状と記念品が贈られました。受賞者は右のとおりです。



●個人の部			(50音順 敬称略)
氏名	住所地	功労者としての役職	
秋川 陽一	倉敷市	倉敷市男女共同参画審議会副会長	
池田 久美恵	勝山町	まにわ女性セミナー運営委員長	
石田 美壽恵	新見市	元新見市男女共同参画推進会議会長	
岡村 咲津紀	里庄町	いかさ女性セミナー運営委員	
金井 登志子	長船町	岡山地域女性活動推進センター運営委員長	
小林 温子	英田町	英田女性の会副会長	
延谷 文子	日生町	東備女性セミナー会員	
村木 薫	総社市	サンレディースくらしき副運営委員長	

●事業者の部			(敬称略)
事業者名	所在地	主な取組内容	
両備運輸(株)	岡山市	女性の登用や人材養成及び環境整備	

・森 毅さんの講演会開催 (9月20日)・



京都大学名誉教授で評論家として活躍中の森 毅さんおとこあじを招いて、「男味も女味もおんなあじ」と題しての講演会を開催しました。「男味の特性は、目的達成の集中にあるし、女味の特性は状況適応の分散にある。味というのは、塩と砂糖のようにあんばい加減で決まる。人ごとにどちらの味がメジャーか違うし、同じ人間でも状況や相手によって変わる。今の時代は女味が勝っているのかなあ…」と、いつものひょうひょうとした語りでの1時間半でした。

・ひとことメッセージ入選作品表彰と村上信夫さん講演会 (10月26日)・

男女共同参画をテーマに募集していた「ひとことメッセージ」の優秀作品が決まり10月26日(日)に表彰式が行われました。応募総数360点の中から選ばれたウィズ大賞とウィズ賞をご紹介します。

夫へ
「今日、ゴミの日よなあ」と、
あなたが言った。
やったあ〜！ 結婚して、9年目の快挙。

この日を待っていた妻より
降旗真由美<倉敷市>

ウィズ大賞

夫へ
旅先で突然名前と呼ばれた。
「言えるんじゃない」と心でニンマリ。
少しずつ変わっていきけるのね、私達も。

妻より 伊尻文子<久美町>

職場の男性へ
わたし、職場に弟も甥もいないけど、
「おねえさん」「おばさん」って呼ばれています。
名前でも呼んでもらえると、
もっと気持ちよく仕事ができるような気がするんだけどね。

社員(39才)より 藤永憲子<岡山市>

おじいちゃんへ
うちでは、早く帰った人が 晩ご飯作りだよ！
僕は妹と 米洗って スイッチポン

孫より 橋本里子<船山町>

妻へ
寄り掛かって生きれば力が半減し、
支え合って生きれば倍の力になるんだなあ。
倍にしてごうよ。

夫より 南川高志<倉敷市>

共働きのAさんへ
「仕事で遅くなるけど」電話の向こうから
「いいよ、お母さんがんばって」
この一言です〜と仕事が続けられた。
あなたも大丈夫よ。

先輩のNより 関本規子<赤松町>

ウィズ賞

息子へ
「男の子でしょ、泣かないの!」なんて、
叱ってごめんない。
男も泣きたいときは、泣いていいんだよ。

母より 藤美里<岡山県>

母へ
「お父さんがいいって言ったらね」小さい頃、よく言われた。
お母さんは いつも お父さんと同じ考えだったの?!

娘より 榎基子<久美町>

大好きなおばあちゃんへ
「おばあちゃん 私 青いランドセルがいいな。
青色 大好きなの」

孫より 新谷なおみ<山手町>

お父さんへ
最近お父さんがごはんを作ってくれる。
味はまだただけど、なんか楽しい。

子どもより 山口恭一<岡山市>

夫へ
「おい」と呼ばれて 50年
名前を呼ばれるのは あの世かな

妻より 徳田良子<井原市>

表彰式と併せ、審査員をお願いしたNHKチーフアナウンサー村上信夫さんの講評と講演会「おやじの腕まくり」を開催しました。家庭や地域に男性がどう関わっていくか?「やっている私たち自身が楽しむことが長続きする一番の秘訣。お互いに名刺の肩書きのない付き合いで、やれることを無理しないでやっていますよ」と、さわやかな笑顔で体験談を話してくれました。



INFORMATION

ウィズカレッジ講演会

故・横山やすしさんのマネージャーを務めた大谷さんに、仕事と子育ての両立をテーマに語っていただきます。

日時 1月18日(日) 13:00~15:00

場所 ウズセンター

内容 講演 吉本興業マネージャー奮戦記
~「仕事」「子ども」
『両立』ってどうやんねん?~

講師 大谷 由里子
(有)志縁塾、元吉本興業プロデューサー



募集人数 160人

ヤングママ・パパのジェンダー講座

年中無休の子育ては十人十色。子どもの個性も十人十色。子育ての悩みやストレスは一人で背負わないで。子育てのヒントが見えてくるかもしれません。

PART I

日時 1月31日(土) 10:30~15:00

場所 ウズセンター

内容 講演 10:30~12:00
「男らしさ、女らしさ、自分らしさ？」
ワークショップ 13:00~15:00
「自分らしさに気づく」

講師 水野 阿修羅 (コミュニケーショントレーナー)

募集人数 子育て中及びこれから子育てをする人等 30人

申込期限 1月24日(土)

PART II

日時 2月5日(木)、12日(木)、19日(木)
10:00~12:00

場所 ウズセンター

内容 プラ・コミュニケーション術講座
~楽しく自己表現する~

講師 平松 とも子 & 池上 清美
(FMくらしき市民パーソナリティー)

募集人数 15人 (子育て中の人等で、原則として3回とも参加できる人)

申込期間 定員になり次第締め切ります。



大西副知事の講義を家庭で!

大西副知事が岡山大学経済学部の学生に講義した「男女が共に輝く岡山づくり-多様な生き方が尊重される男女共同参画社会を目指して-」をインターネットで見ることができます。

<http://www.pal.pref.okayama.jp/contents/gendai.htm>

輝く女性トーク&トーク

チャレンジ精神でキャリアを築いた斎藤さんの話や、男女共同参画への2人の思いなどを話し合ってください。

日時 2月8日(日) 13:30~15:30

場所 ウズセンター

内容 講演 そうだ! 社長になろう
13:30~14:40

斎藤 聖美
(ジェイ・ボンド証券株式会社代表取締役社長)

対談 チャレンジする女性たちへ
14:50~15:30



斎藤 聖美 & 大西 珠枝
(岡山県副知事)

募集人数 100人

申込期限 2月4日(水)

ウィズエンパワーメント講座

女性情報の意味とエンパワーメントのための戦略としての県内のネットワークづくりについて考えます。

日時 2月28日(土) 13:00~15:00

場所 ウズセンター

内容 講演 女性情報による
エンパワーメント戦略

13:00~14:00

ワークショップ 14:00~15:00

講師 尾 洋子 (国立女性教育会館客員研究員)

コーディネーター 真邊 和美 (岡山市立箕島小学校長)

募集人数 80人

申込期限 2月24日(火)

メディア・リテラシー

メディア社会といわれる現在、ジェンダーに敏感な視点でメディアを読み解く力をつけるとともに、「女性とメディア」について考えます。

日時 3月13日(土) 10:30~14:30

場所 ウズセンター

内容 ワークショップ

第1部 メディア・リテラシーについて
10:30~12:00

第2部 テレビCMとジェンダー
13:00~14:30

講師 吉田 清彦 (フリーライター)

募集人数 80人

申込期限 3月9日(火)

INFORMATION

技術講習会☑

パソコン(初級)☑ パソコン技士(表計算部門)☑
3級受験コース☑

〔期 間〕 2月10日(火)～3月10日(水)の月～金 ☑
〔時 間〕 10:00～16:00 ☑
〔場 所〕 西日本電子計算学院(岡山市駅前町)☑
〔受付期間〕 1月20日(火)～1月24日(土) 9:30～16:30

受講資格☑結婚・出産・育児・介護など家庭責任の分担を理由
☑ に離職し再就職を希望する方など☑

受講料 ☑無料(教材費等は実費負担)☑

申込方法☑受付期間内にご本人がウィズセンターへお越しの上、
お申し込みください。

起業家応援講座☑

共催:岡山県産業振興財団☑

〔日 時〕 第1回 2月20日(金)10:00～16:00☑
第2回 3月 5日(金) " ☑

〔場 所〕 ウィズセンター☑

〔受付期間〕 2月13日(金)まで☑
9:30～16:30☑

〔内 容〕 ビジネスプラン作成、プレゼンテーション、
グループディスカッション等 ☑

☑ 受講資格☑起業に興味と意欲を持っている女性で第1回、第2
☑ 回とも出席できる方。☑

受講料 ☑無料☑

申込方法☑ウィズセンターへ電話でご連絡ください。

申し込み・問い合わせ先☑

岡山県男女共同参画推進センター(ウィズセンター) ☑
岡山市中山下1-8-45 NTTクレド岡山ビル17階 電話 086-235-3309

ウィズライブラリー

二人の女性起業家から「元気」のプレゼント! ☑

『あなたを幸せにする魔法の質問』☑

●大谷 由里子☑
●主婦の友社(2003年)☑

元吉本興業の伝説プロデューサーが伝授する未来を変える「セルフ・コーチング」☑

変わるのは自分! 変わるのは未来! あなた自身が幸せになる答えを見つけてください。☑

『そうだ!社長になろう』☑

●斎藤 聖美☑
●文藝春秋(2000年)☑

もう、OLはいやだ! 外資系投資銀行からネットビジネスへ見事に転身を果たした「おんなひとりのベンチャー起業」奮闘記。☑

「人権」についてみんなで考えてみませんか? ☑

『女性の人権を考える』☑

●2002年 ●25分☑

ドメスティック・バイオレンスやセクシュアル・ハラスメントの被害者の体験から女性差別の根元にある意識を問う。☑

『Meet the ヒューマン ライツ』☑

●2002年 ●27分☑

日常生活や社会の中に存在する「人権問題」。6人の若者たちの「人権」との出会いと発見を、彼ら自身の言葉で描いたドキュメンタリー。☑

『風と大地と梨の木と』☑

—老いのいきさき—☑

●1999年 ●28分☑

ある熟年夫婦の危機を発端に男社会がつくってきた女性への理不尽な差別と高齢者問題を考える人権啓発ドラマ。☑



ウィズセンターは土・日曜日も開館しています。☒
お気軽に、お越しください。☒

ウィズセンターはこんなところ ☒

男女共同参画社会とは、☒
男女の人権が等しく尊重され、☒
お互いが支えあい、利益も責任も分かちあえる、☒
いわば、女性と男性の☒
イコール・パートナーシップで築き上げる☒
バランスのとれた本当に豊かな社会です。☒
ウィズセンターはこうした男女共同参画社会づくりを☒
推進していくための施設です。☒

- 1 ほしい情報が手に入ります。☒
 - 関係機関の情報誌の閲覧や、男女共同参画に関する図書・ビデオなどの貸出のほか、人材情報も提供しています。☒
 - 就業に役立つ情報を提供しています。☒
- 2 相談ができます。☒
 - 女性の相談員が様々な悩み事に耳を傾け、解決のお手伝いをします。☒
 - 就業に関する様々な相談に応じます。☒
- 3 学習できます。☒
 - 男女共同参画のための各種講座を行っています。☒
 - 再就職に役立つ技術講習会を行っています。☒
- 4 便利な施設が利用できます。☒
 - 男女共同参画に関する県民のみなさんの活動を支援しています。☒
 - 男女共同参画に関する活動の活性化と交流を深めるために、会議室、交流サロン、作業室などを提供しています。☒



お知らせ

メールマガジン「ウィズおかやまかわらばん」の配信をはじめています。希望される場合は、Eメールで件名「メルマガ希望」、本文に「お名前」を明記の上、☒

☒ danjo@pref.okayama.jp

まで、お申し込みください。☒

※送信先のアドレスが申し込みの際のメールアドレスと異なる場合は、本文に送信先のアドレスを明記してください。また、携帯メールへの送信は機種によっては全文を表示できない場合がありますのでご注意ください。☒

センターへのご意見はご遠慮なく☒
ハガキ・FAX・Eメールまたはセンターの提案箱へ☒

「情報誌With」は季刊発行になりました。☒

人権☒を尊重することが、☒
男女共同参画社会への☒
第一歩です。☒

最近、インターネット上において、女性差別や部落差別、障害者差別等の書き込みがされるなど、基本的人権の侵害が見受けられます。☒

私たち一人ひとりが男女共同参画に関する理解を深め、女性に対する差別や暴力のない社会、性別にとらわれず、それぞれの能力や個性が十分発揮でき、喜びも責任も共に分かち合える男女共同参画社会を実現しましょう。☒

ウィズセンター利用のご案内 ☒

開館時間 ☒ … 火～土曜日 ☒ 9:30～20:00 ☒
日・祝日 ☒ 9:30～17:00

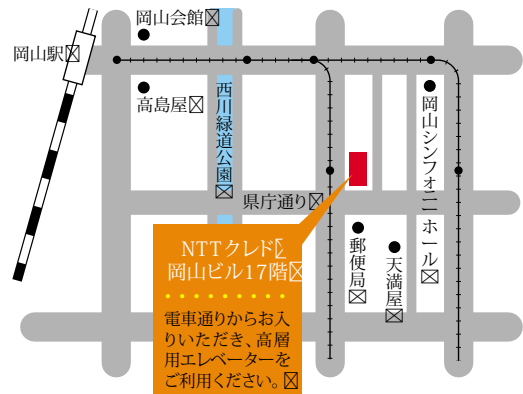
相談員による ☒
一般相談 ☒ … 火～土曜日(祝日を除く) ☒ 9:30～17:00 ☒
就業相談 ☒ (受付は16:30まで) ☒

特別相談 ☒ … 弁護士による法律相談 ☒ ● 原則第2・4金曜日 ☒
(予約制) ☒ 医師によるからだの相談 ☒ ● 原則第1土曜日 ☒

休館日 ☒ … 月曜日及び年末年始 ☒

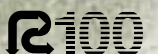
☒ 電話 ☒ … 086-235-3307 (代表) ☒
086-235-3310 (一般・特別相談) ☒
086-235-3309 (就業相談) ☒

ホームページ ☒ … <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/danjo/>



交通案内 ☒ … 岡山駅から徒歩10分 ☒
バス ● NTT岡山前下車すぐ ☒
天満屋バスターミナルから徒歩2分 ☒
市内電車 ● 郵便局前下車すぐ ☒

ウィズ新春号(vol.27)／平成16年1月発行 ☒
編集・発行／岡山県男女共同参画推進センター ☒
〒700-0821 岡山市中山下1-8-45 NTTクレド岡山ビル17F ☒
TEL (086)235-3307(代) FAX (086)235-3306 ☒
Eメール:danjo@pref.okayama.jp



古紙配合率100%再生紙を使用しています ☒